



市議会だより

第62号

令和2年
2月1日発行

編集・発行
五島市議会議会広報特別委員会
五島市福江町1番1号
TEL.0959-72-7923



ごとう

55年の歴史ある議場に別れ

12月定例会は、福江市議会及び五島市議会の議場として、長年使用してきた議場での最後の定例会となりました。新庁舎への移転に伴い、次回の3月定例会は、新しい議場で行われます。



目次

補正予算の主な事業	P 2
一般質問	P 3～P 6
委員会審査	P 7
審査結果、賛否一覧表	P 8
意見書、行政調査	P 9
議員定数見直し、編集後記	P 10

12月定例会は、12月4日から25日までの22日間の日程で開催されました。開会日の12月4日に、決算14件を認定。12月9日と10日には、8名の議員が一般質問を行い、11日から23日までは、各常任委員会等が開かれ、付託された議案等について審査を行い、最終日の25日に、市長提出議案の令和元年度補正予算、条例等30件を可決。さらに、議会議案2件、陳情3件についても、それぞれ審議決定されました。

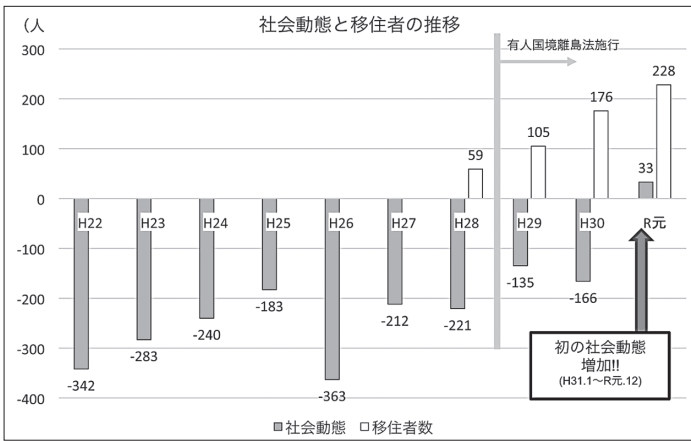
12月定例会のあらまし

補正予算の主な事業

Uターン促進事業

615万6千円

Uターン支援制度のうち、奨学金返還支援助成金及び空き家バンクに登録されている空き家の改修工費を助成する空き家活用促進事業費補助金について、当初見込みを上回る申請があつて、このことから追加計上する。



移住者(Uターン)者が増加

地域介護・福祉空間整備等施設整備事業

169万7千円

認知症高齢者グループホーム等の利用者の安全性を確保するため、気象状況により特に必要とされる熱中症対策のための空調設備更新を行う事業者に対し補助を行う。

農作物等有害鳥獣対策事業

830万9千円

イノシシ等による農作物等有害鳥獣対策については、五島広域鳥獣被害防止対策協議会において、侵入防護柵を整備し対策を図っているところであるが、さらなる強化を図り、計画的に取り組む必要があることから、国の中山間所得向上支援事業を活用し、敷設計画の策定を行う。また、有害鳥獣捕獲者に対する捕獲補助について、当初見込みを上回る申請があつて、このことから、同補助金を追加計上する。

アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業

143万3千円

アフリカ豚コレラの農場内侵入防止を図り、養豚農家の振興に資するため、養豚農場において、野生動物の侵入に対する防護柵の設置を行う自衛防疫団体等に対し、施設整備に必要な費用の一部を助成する。

被災住宅林地等崩落土砂撤去費助成事業

75万円

集中豪雨により、住居に土砂被害を受けた方の土砂等の撤去・処分などに要した費用の一部を助成するための補助制度を創設する。

市道崎山78号線ほか1路線道路整備事業

3千857万円

鑑瀬園地自然環境活性化プランに基づく整備に伴い、園地内での大型車両の往来や交通量の増加が見込まれることから、来訪者の利便性向上及び安全の確保を図るため、市道の拡幅整備を行う。

災害情報システム等構築事業

352万5千円

防災基本計画に基づき、災害対策本部機能の充実・強化を図るため、災害情報の集中管理、情報の共有・発信を円滑にする災害情報システムを構築するとともに、指定する避難所に特設公衆電話の設置を行う。

災害復旧事業

1億670万円

令和元年8月27日から30日の8月豪雨により農業用施設、9月22日に通過した台風17号により林道及び漁港施設において災害が発生したため、災害復旧を行う。



林道佐舗坂ノ上線の被害状況

一般質問 市政を問う

コードを読み取ると一般質問の動画が見られます。

問 五島日本語学校開設に伴うメリットは

答 人口減の抑制、労働力の確保などを期待している



網本 定信
議員



質問 五島日本語学校について①市の財政負担は。②メリットは。

答弁 ①施設の改修等に約2億5千5百万円を要したが、国の交付金等の活用で、実質的な市の負担は3千8百42万円である。また、1名につき2年間で最大100万円の奨学金を給付予定だが、交付税措置で市の財政負担が増えないよう制度設計している。②最大100名の留学生受け入れによる人口減の抑制、留学生の労働力の確保、外国人との共生社会を築く



開校予定の五島日本語学校

ことで五島市が外国人から選ばれる地域となることを期待している。また、直接的な経済効果として、留学生100名の年間消費額を約4千万円、学校の年間運営費を約8千5百万円と試算している。

支所地区の陳情への対応は

質問 支所地区の道路等の陳情への対応が遅々として進んでいないと感じるが、本庁での対応状況は。

答弁 支所で受け付けた道路等の陳情は、建設課へ進達している。緊急性、必要性の高い現場から順次対応しているため、交通量や利用頻度の低い現場は優先順位が低くなる傾向にあるが、支所地区だからといって扱いに違いはない。

遣唐使船を模したバス待合所の今後は

質問 遣唐使船とバス待合所は、老朽化により利用できない状態で、解体予定だと聞くが、今後の予定は。

答弁 旧三井楽町で、万葉の里として地域活性化のシンボリックに建設された認識しているが、19年が経過し、修復が困難であるため、再び整備して活用する考えはない。

問 富江病院の再編・統合について市長の見解は

答 地域に欠かせない病院であり、守っていききたい



江川美津子
議員



質問 9月26日、厚労省は、全国の公立・公的医療機関のうち、再編・統合の議論が必要とした424の病院名を公表した。富江病院が対象となっているが、五島地域の医療体制を守るため、なくしてはならないと思う。市長の見解は。

答弁 富江病院は、病床稼働率が90%を超え、経営も黒字で、利用実態にあわせた病床機能の転換も計画的に進めている。また、外来診療、在宅医療、介護施設への訪問診療、訪問看護なども行っており、地域に欠かせない病院と考えている。性急な再編・統合により地域医療の崩壊を招くことがないよう、地域の実状を訴え、五島地域の医療体制を守っていききたい。

グループホームさざなみ廃止による影響は

質問 グループホームさざなみについて、廃止条例が提案されているが、現在の利用者への影響は。

答弁 入居している利用者は9名で、本来、慣れた環境を変えることは好ましくないが、利用者や家族の希望を伺いながら、3月までに確実に他の施設に転居できるように早目の調整を行っていく。



廃止されるグループホーム
さざなみ

奈留総合体育館の雨漏り修繕は

質問 奈留総合体育館の雨水配水管取替工事への着手が遅れている要因と、今後の方針は。

答弁 入札の不調が4回続いている。辞退した事業者によると、公共工事に加え、個人からの受託も多く、工期内の完了が困難との話だった。新年度早急に発注し工事が早く完了できるよう努力したい。

問 避難訓練の日を定め、年に一度は市全体で一斉に訓練できないか

答 訓練が困難な地区が多く、防災士などの協力を得ながら地域の防災力の強化を図りたい



片峰

議員 亨



質問 市で避難訓練の日を定め、年に一度は市全体で各地区が一斉に避難訓練を実施できないか。

答 訓練の必要性は理解しているが、自主防災組織を対象としたアンケートに、高齢者が多いことや人集めが難しいことなどから、多くの町内会長が防災訓練や防災講話を実施できないと回答している。今後は、市民の防災意識を高めるための広報活動等を充実させ、防災士などの協力を得ながら、地域の防災力の強化を図りたい。

海に流れ出た流木の処理は

質問 台風による大雨で、大量の流木が海に流れて船舶の航行に支障を来していたが、①流木の処理方法は。②流木や漂流ごみを回収する専用船を市で整備しては。

答 ①漁港については、地元の漁業者や委託した建設業者などに作業を行ってもらい、漁港機能を回復している。②回収船を整備して市だけで対応するよりも、漁船所有者に委託して、一斉に回収していききたいと考えている。



豪雨で漁港に漂着した大量の流木

側溝及び暗渠の点検は

質問 側溝や暗渠に堆積物が詰まっていると、大雨災害時に道路の冠水や住宅の浸水の恐れがある。点検は行っているのか。

答 町内会や市民からの情報をもとに、随時対応しているが、定期的な点検は行っていない。今後、浸水想定区域について優先的に点検するなどの対応を検討したい。

問 孤立死、孤独死を防ぐため、他機関との連携の必要性は

答 関係機関と連携を図りながら見守り体制の構築に努めていく



清川

議員 久義



質問 孤立死、孤独死を防ぐため、①専門性を持つ職員の配置は。②他機関との連携の必要性は。

答 ①地域包括支援センターに社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師を配置し、独り暮らしの方への定期訪問、閉じこもりやうつ、認知症予防に努めている。②多重的な見守りネットワーク構築と異変時の効果的・効率的な対応のため、高齢者見守りネットワーク連絡会参加機関と連携を図りながら、見守り体制の構築に努めていく。

河川の浚渫及び雑木の伐採状況は

質問 台風19号による関東地方などでの河川等の崩壊には、堆積物や雑木などにより河川の流れが悪くなっていたことも影響したといわれている。河川の浚渫については、過去にも一般質問をしたが、

現在の状況は。

答 市の所管分については、箇所も多く十分な対応ができていない状況にあるが、今後、予算を増額しながら、また、県の所管分については県と協議しながら、計画的に整備を進めていきたい。

スクールバス停留所の整備を

質問 岐宿小・中学校のスクールバス停留所に、荒天時のための雨よけを設置できないか。

答 停留所は、岐宿のほか、玉之浦と三井楽にも多数あり、すべての停留所を雨よけつきに整備するためには多額の経費を要する。また、スクールバスは、ほぼ時間どおりの運行となっているので、雨よけ等を設置する計画はない。教育の一環ということで、雨の日もあるという経験を通して、たくましく育ってほしいと思っている。



停留所でスクールバスに乗る小学生

問 海洋環境問題で、小泉環境大臣に視察を依頼できないか

答 来島いただけないか相談してみたい



木口 利光
議員



質問 海外からの海岸漂着ごみ対策として、小泉環境大臣に五島市での現状視察を依頼できないか。

答弁 漂着ごみについては、海外から流れ着いて迷惑だという意識が強いと思うが、私達の生活から出たごみも多い。現在、五島市では、洋上風力発電の実用化など、環境エネルギーに関する様々な施策を展開しており、小泉大臣に来島いただき、環境問題について直接対話する機会があれば、市民の理解も進むと思うので、環境省を通じて相談してみたい。



海洋ごみ発生抑制啓発事業

観光客への協力金制度導入を

質問 世界遺産の構成資産である教会堂を保全するため、観光客へ協力金を募る協力金制度を導入すべきでは。

答弁 協力金制度については、昨年度リニューアルした、五島市教会巡りハンドブックを巡礼手帳として販売することで対応できないか、現在、関係団体と協議している。

世界遺産効果を持続させるためには

質問 世界遺産効果を持続させるため、全国一の五島の教会群を伝える情報発信力や着地型商品の企画力、ガイド力を強化すべきでは。

答弁 五島に来てもらうための情報発信と、来てもらった方に満足してもらい、五島の良さを情報拡散してもらうことが重要だと考えている。世界遺産の持つ歴史や重要性をしっかりと説明できるガイドの確保、着地型旅行商品や五島ならではの体験メニューの磨き上げとともに、宿泊施設や飲食店などの観光関係者及び市民のおもてなし力の向上に努めていきたい。

問 ペナルティーがなければ物品調達に最低制限価格を設けるべきでは

答 国の制度上、設けることはできない



橋本 憲治
議員



質問 五島市内は長引く不況のため、物品調達の入札で低価格競争が続いている。この状態を改善し、正常化に導くのが市長の役割であり、国からのペナルティーがなければ、市内業者の経営を守るため、最低制限価格を設けるべきでは。

答弁 制度上、物品調達の契約については、最低制限価格を設定できないこととなっている。

登山ルート上のごみの確認は

質問 すばらしい登山ガイドブックが作成されている。大川原ダムから父ヶ岳山頂へのルートを登ったところ、数年前のごみを大きいゴミ袋4袋分回収した。ほかのルートの状況は確認しているのか。

答弁 ガイド団体に確認したところ、ほかのルートでは余り目立つ

たごみはないとのことだったが、今後も、ガイド団体との連絡をとりながら対応していきたい。



登山・トレッキングガイドブック「しま山」

ジオパークに関する副読本づくりを

質問 五島列島ジオパーク構想パンフレットでの五島の成り立ちについては、専門的でわかりづらい内容である。小中学生にジオパークに興味を持ってもらうため、身近なところから地球を感じられる内容の副読本が必要ではないか。

答弁 ウェブ版の五島市社会科副読本の中にジオパークに関するページを作成したい。また、学校教育ではもちろん、一般の方も五島列島の成り立ちや地質・地形の特徴などを分かりやすく学べるガイドブックの作成を検討したい。

問 公立・公的病院の再編・統合リスト公表による富江病院への影響は

答 富江病院が地域で果たす役割を国・県へ伝え、守っていききたい



三浦 直人

議員



質問 突然の公立・公的病院の再編・統合リスト公表で、住民は不安に思っている。富江病院への影響をどのようにとらえているか。

答弁 今回の公表対象となった病院は、高度急性期や急性期に対応できる病院で、診療実績や近隣の医療機関の状況など全国一律の基準により機械的に分類されたものである。

富江病院は、病床稼働率が90%を超え、経営も黒字で、病床機能の転換も行



再編・統合の議論が必要とされた富江病院

っている。離島の公立・公的病院は、地域医療の基幹を担っており、再編・統合は、市民が安心して医療を受けられることが前提である。今後、富江病院が地域で果たす役割の大きさを国・県へしっかり伝えることで、地域の医療体制を守っていききたい。

国土強靱化地域計画の策定は

質問 五島市国土強靱化地域計画の策定に向けた取り組みは。

答弁 同計画は、事前防災・減災と、迅速な復旧・復興に役立つ対策をあらかじめ総合的・計画的に実施することで、自然災害が発生しても最悪の事態に陥ることが避けられるよう、安全・安心な社会を平時からつくり上げようというものである。五島市でも、国土強靱化に関する取り組みの方向性を示すものとして、今年度中の計画策定を目指し、全庁的な作業を進めている。計画に基づく施策には、国からの交付金等の交付に一定の配慮が受けられるため、避難所の環境整備や防災関連施設の充実を図るなど、安全・安心なまちづくりを推進していききたい。

問 島外からホテルが参入すれば島内の事業者を圧迫するのでは

答 ある程度、競争のもとで活性化をしていかなければいけない



草野 久幸

議員



質問 福江ショッピングの跡地にホテルが建つのではないかとの話を聞く。もし島外からホテルが参入してくれば、現在、五島で頑張っているホテルを圧迫することになる。これ以上五島で頑張っている事業者を苦しめないでほしい。

答弁 ある程度、競争のもとで活性化をしていかなければ、消費者自体に対するサービスが停滞すると



解体工事中の福江ショッピング

玉之浦花き栽培施設の譲渡額は

質問 玉之浦花き栽培施設は、本来ならば無償譲渡すべきであったと思うが、有償譲渡した金額は。

答弁 譲渡額の算出に当たっては、五島市有財産評価委員会に評価をお願いした。その審議の結果、建物・構造物の耐用年数が14年から17年であるのに対し、既に24年が経過しており、今回の譲渡対象となる建物・構造物10件とも、「新地方公会計モデルにおける資産評価実務手引」による算出法を基本としての減価償却を行ったところ、それぞれ評価額が備忘価格の1円と決定されたことから、その結果を参考に、譲渡額を10円とした。

委員会 分科会 の審査

総務委員会

条例等 議案第122、124号 工事請負契約の変更について

提案理由 平成30年7月26日に議決された五島市本庁舎新本館棟建設工事に係る工事請負契約を変更したため。

問 今回の契約変更に伴い、工期におくれば生じないのか。

答 工事については若干のおくれが生じていたが、人員配置の充実により改善されつつあり、施工業者から提出された変更工程表においても令和2年1月末が完了工期となっており、今回の契約変更に伴う工期の延長は生じない。

文教厚生委員会

条例等 議案第119号 五島市奨学資金給付条例の一部改正について

提案理由 令和2年度から、高等教育の修学支援新制度が開始され

ることに伴い、奨学資金の給付額を見直し、奨学生の人数に制限を設けたいため。

問 成績基準の見直しも進めているとのことだが、その内容は。

答 現在は大学入試センター試験の国語、英語、数学の合計点数が、650点満点中570点以上の者となっているが、点数の基準は設けずに、合計点数の上位5人以内に給付するように改正したいと考えている。

条例等 議案第126号 保育事業所の指定管理者の指定について

提案理由 指定管理期間が令和2年3月末で満了する玉之浦及び中



玉之浦へき地保育所の子供たち

川へき地保育所について、4月からの指定管理者を指定したいため。

問 指定期間が2年と短い理由は。

答 現在、両保育所とも8名の児童が利用しているが、令和4年度には、玉之浦で1名、中川で4名の計5名まで減る見込みであるため、2つの保育所の統合を見据えて指定期間を2年としている。

経済土木委員会

条例等 議案第120号 五島市玉之浦農林産物加工研修所条例の廃止について

提案理由 第3次五島市行政改革大綱に基づく公共施設の見直しにより、施設を廃止したいため。

問 同施設の利用状況は。

答 同施設は平成3年度に整備されており、地元団体を指定管理者に指定し管理を行ってきたが、ここ数年は利用されておらず、地元団体から高齢化等により管理が困難であるとの申し出があっている。

問 廃止後の施設の取り扱い。

答 土地を含め普通財産に編入した後、一般競争入札による売り払いを考えている。

算 漁港災害復旧事業

650万円

問 漁港災害復旧事業のうち、黒瀬漁港（琴石地区）の消波ブロック崩壊に対する復旧方法は。

答 新たな消波ブロックを設置するとともに港内に入った消波ブロックの一部を撤去する。なお、災害復旧は原形復旧が原則であるため、これまでと同一構造の消波ブロックを設置することで災害査定を受けている。

意見 同施設は以前も同様の被害を受けており、また、近年は台風の大型化などもあり、原形復旧のみでは被害が繰り返されることも考えられるため、今後は大型の消波ブロック設置等も検討をお願いしたい。



消波ブロックが崩壊した黒瀬漁港(琴石地区)

審查結果

議案番号	件 名	審査結果	議案番号	件 名	審査結果
議案第100号	平成30年度五島市一般会計歳入歳出決算	認 定	議案第124号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第101号	平成30年度五島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第125号	富江地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第102号	平成30年度五島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第126号	保育事業所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第103号	平成30年度五島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第127号	デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第104号	平成30年度五島市診療所事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第128号	笠松宏有記念館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第105号	平成30年度五島市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第129号	玉之浦健康管理増進施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第106号	平成30年度五島市大浜財産区特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第130号	農村集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第107号	平成30年度五島市本山財産区特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第131号	荒川集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第108号	平成30年度五島市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第132号	小浦集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第109号	平成30年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第133号	漁船保全施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第110号	平成30年度五島市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第134号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案第111号	平成30年度五島市交通船事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第135号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案第112号	平成30年度五島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第136号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決
議案第113号	平成30年度五島市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決及び認定	議案第137号	令和元年度五島市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第115号	五島市部設置条例の一部改正について	原案可決	議案第138号	令和元年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第116号	五島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決	議案第139号	令和元年度五島市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第117号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	議案第140号	令和元年度五島市診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第118号	五島市認知症対応型共同生活介護施設条例の廃止について	原案可決	議案第141号	五島市職員の給与に関する条例及び五島市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第119号	五島市奨学資金給付条例の一部改正について	原案可決	議案第142号	五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第120号	五島市玉之浦農林産物加工研修所条例の廃止について	原案可決	議案第143号	五島市議会議員の議員報酬、費用弁償等支給条例の一部改正について	原案可決
議案第121号	五島市簡易水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	議案第144号	令和元年度五島市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第122号	工事請負契約の変更について	原案可決	議会議案第3号	五島市議会議員定数条例の一部改正について	原案可決
議案第123号	工事請負契約の変更について	原案可決	議会議案第4号	長崎県富江病院の存続を求める意見書	原案可決
			陳情第11号	五島市議会における市民のための議会改革に向けた取り組みとして常任委員会等の透明化を求める陳情	結 審
議案第121号	五島市簡易水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	陳情第12号	五島市の音楽文化団体における著作権法の遵守のための適正な環境づくりと名義後援依頼に対する承認基準及び申請書の整備を求める陳情	結 審
議案第122号	工事請負契約の変更について	原案可決	陳情第13号	「玉之浦花き栽培施設10円譲渡の解明」に関する陳情	結 審
議案第123号	工事請負契約の変更について	原案可決			

贊否一覽表

○：賛成 ×：反対 -：欠席

[illegible]

「長崎県富江病院の存続を求める意見書」を国及び県へ提出

厚生労働省は、令和元年9月26日、全国の公立・公的病院の約3割にあたる424の病院について、再編・統合の議論が必要として病院名を公表した。その中に当市富江町にある長崎県富江病院の名前が挙がったことに対して、地域の命と健康を守る最後のとりでである公立・公的医療機関が、機械的に再編統合されるのではないかと住民の不安を招いている。

平成21年4月に発足した長崎県病院企業団に属する富江病院は、利用実態に合わせた病床機能の転換を計画的に行い、現在は病床稼働率が90%を超え、経営状況も黒字である。また、外来診療、在宅医療、介護施設への訪問診療、訪問看護などを行っており、交通手段のないひとり暮らしの有病高齢者の増加が危惧される中、地域に欠かすことのできない存在である。

全国的に人口減少が進み、病院経営を取り巻く環境は厳しい状況となっていくが、地域の医療環境を守っていくためには、国においても地域の実情を十分に踏まえた議論が行われることが重要である。

よって、本市議会は国及び県に対して、地域医療を支える長崎県富江病院の意義・役割を十分に理解すること及び今後の存続を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月25日

長崎県五島市議会

行政調査を実施

2年に1度実施している先進地の行政調査を行いました。

総務委員会

総務委員会は、10月23日から25日にかけて、福岡県朝倉市と山口県萩市を訪れました。九州北部豪雨で甚大な被害を受けた朝倉市では、「防災対策と災害時の対応について」、平成30年度に日本ジオパークに認定された萩市では、「ジオパークの取組について」調査しました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会は、10月27日から29日にかけて、山口県萩市及び防府市を訪れました。萩市では、健康寿命延伸への取組として「萩市健康維新のまちプロジェクト」、防府市では、高齢者を支える地域づくりとして「幸せます健康くらぶ事業について」調査しました。



萩市での調査



朝倉市での調査

各会派の実施状況

市民ネットワーク・日本共産党（10月8日～11日）

北海道東川町…東川町立日本語学校の運営、人口減少対策について

北海道小樽市…まちなか観光にぎわいづくり調査事業、観光イノベーション事業について

政策会（10月17日～19日）

岡山県高梁市…平成30年7月の豪雨災害の状況と復興への取組について

岡山県備前市…アマモ場再生への取組について

創政自民党（11月10日～13日）

北海道函館市…函館マラソンについて

青森県大間町…ジオパークの取組、マグロを活用した地域活性化策について

芯風会・公明会・ごとう改革21（11月26日～27日）

麻生専門学校グループ日本語教育センター（福岡市）…日本語学校の現状について

次の一般選挙から、市議会議員の定数を「20人」から「18人」に

～議会議案「五島市議会議員定数条例の一部を改正する条例」を賛成多数で可決～

市議会では、昨年3月に議員定数等調査特別委員会を設置し、議員定数等に関する調査研究を行ってきました。委員会では、市民の多様な要望や意見を反映させるためには、これ以上議員を減らすべきではないとの意見も出ましたが、人口減少により過疎化が進行していること、また、九州内の人口規模が類似する市議会の定数が、平均18.5人であることから、18人にすることが望ましいと判断しました。

今回、定数を改正する条例案が賛成多数で可決され、次の市議会議員の一般選挙から、定数は2名減となりますが、これまで以上に市民の声を市政に反映できるよう議員一人一人が努力し、五島市の活性化のために取り組んでいきます。



☆表紙の題字

「市議会だより」は、

海陽高一年
徳永新莉

さんの作品です。



☆表紙の題字

「ごとう」は、

福江五年
福山侑愛

さんの作品です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成28年3月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。



3月定例会は3月4日(水)開会予定です。 <http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>

編集後記

昨年の12月定例会をもちましてこれまで55年間使用しておりました議場に別れを告げました。

昭和37年の福江大火後、新庁舎建設に伴い、当時の虎島和夫福江市議会議長は、文豪シェイクスピアの「正義を守って恐るるなかれ、汝の目指すすべての目的は、汝の国家のためであり、汝の神のためであり、信念のためである」という言葉を引用して新議場を開場しました。まさに先人たちの議会に対する熱い思いと気概が伝わってまいります。

月日は流れ時代は変わっても、私たち議会人はその精神をしっかりと受け継がなければならなと思います。これまでの議場で繰り広げられた市政に対する熱い論戦の重みを感じつつ、時には過去に学び、常に新しい発想を持って市政発展の

議会広報特別委員会



委員長	山田 洋子	委員	網本 定信
副委員長	明石 博文	委員	江川美津子
委員	清川 久義	委員	荒尾 正登

ために全身全霊を傾注していかねばならないと決意を新たにしております。昭和、平成が終わり、令和時代の到来とともに、いよいよ3月定例会は新議場で開会いたします。まさに開かれた議会として、今まで以上に市民の声を反映させるよう努めるとともに、合わせてこの「市議会だよりごとう」にて議会活動を分かりやすく伝えてまいります。ご意見等ございましたら、ぜひお寄せ下さい。

(荒尾 正登)